

後援・推薦に係る審査結果報告書

No.	申請日	申請者	行事名	会場・開催日時	行事の目的・対象・内容等	入場料	新規継続	承認区分及び決定日	審査結果
1	平成25年 7月30日	側林美術財団名 都美術館 館長 林勇夫	響き合う美術 奥田元 宋 小由女	名都美術館 平成25年10月 2日～11月10 日	○ 市民を対象にした名都美術館の特別展 日本画家奥田元宋と人形作家奥田小由女 夫妻の代表作品を紹介する特別展。	一般 ¥1,000 大学生 ¥700 中高生 ¥500	継続	後援 平成25年 8月15日	前回特別展の後援実績があり、 市民の文化発展に寄与すること が物であるため、後援すること が適当である。
2	平成25年 8月5日	NPO法人心豊かに ARDの会 理事長 清水美 千代	あるちゃん・かなう くんのクイズでもの づくり教室	愛・地球博記念公 園 地球市民交流 センター 平成25年9月2 2日	○ 小学生とその家族を対象にした自然に 関するクイズやものづくり体験 自然に関するクイズやものづくり体験を 通して、地球環境に対する興味関心を深 めるとともに、考える力や最後まで取り 組む達成感を味わう。	無料	新規	後援 平成25年 8月15日	参加した小学生の自然に対する 関心を高めることを目的とした 催し物であるため、後援するこ とが適当である。
3	平成25年 8月6日	NPO法人 ワールド・ザ・ ワールド 平松貴美子	まるっと一日英語の 日！「リニモでハロ ウィーン」	リニモ沿線各駅構 内等 平成25年10月 13日	○ 国際交流に興味のある市民が、英語を 使ってハロウィーンに関する問題をクリ アするスタンプラリー リニモ沿線各駅構内等に計7か所のポイ ントを設定し、各ポイントで外国人や地 域住民と英語を使って交流すること、 参加者の国際理解を図る。	¥800 参加費以 外にリニ モ1日乗 車券が必 要	継続	推薦 平成25年 8月22日	参加者の国際理解を図ることを 目的とした催し物であり、前年 度も推薦実績があるため、推薦 することが適当である。
4	平成25年 8月6日	NPO法人 ワールド・ザ・ ワールド 平松貴美子	イングリッシュハロ ウィーンキヤンプ2 013	愛知県美浜少年自 然の家 平成25年10月 20日～21日	○ 外国人やバイリンガルの講師を招いた 小学2年生～中学1年生対象のハロ ウィーンを体験できるキヤンプ 英語を使ってハロウィーン等の外国の文化 を体験するとともに、集団の生活の中で 自立した生活体験をする。	一般 ¥24,800 会員 ¥22,800	継続	推薦 平成25年 8月22日	参加者の国際理解や自立した生 活習慣の獲得を図ることを目的 とした催し物であり、前年度も 推薦実績があるため、推薦する ことが適当である。
5	平成25年 8月8日	私学をよくする 愛知父母懇談会 名古屋東部セン ター 蔡賢治	地域別県民文化大祭 典2013 つなぐがれ絆 夢と希望 へ 秋フェスタin長久 手2013	長久手市公民館 平成25年11月 4日	○ 私学関係者を含む一般市民を対象にし た公募型講座やステージイベント 教育をよくするのために、学校の枠を超え て市民と共に教育を考え、楽しむ祭りを 開催すること、地域・家庭・学校のつ ながりを深める。	無料	継続	後援 平成25年 8月22日	前年度後援実績があり、子ども たちを育てる土壌づくりを目的 とした教育の振興に寄与する催し 物であるため、後援することが 適当である。

資料

1

後援・推薦に係る審査結果報告書

No.	申請日	申請者	行事名	会場・開催日時	行事の目的・対象・内容等	入場料	新規継続	承認区分及び決定日	審査結果
6	平成25年 8月7日	トヨタ自動車㈱ トヨタ博物館 館長 杉浦孝彦	小林彰太郎フォト アーカイブ展「昭和 の日本 自動車見聞 録」	トヨタ博物館特別 展示室 平成25年10月 5日～12月26 日	○ トヨタ博物館の企画展 一般来館者を対象に、自動車評論家・小 林彰太郎が収集した戦前の東京路上で撮 影された写真を展示する企画展。	無料	継続	後援 平成25年 8月30日	前回企画展の後援実績があり、 常設展の補完及び調査・研究内 容の発表をすることで自動車文 化への理解を深めることを目的 とした催し物であるため、後援 することが適当である。
7	平成25年 8月28日	さわやか福祉財 団東海ブロック 松下典子	共生のまちづくり フォーラムin長久手	長久手市文化の家 森のホール 平成25年11月 30日	○ 幅広い世代が地域福祉への理解を深 めめることを目的とした講演会・シンポ ジウム・交流会 地域福祉に関する講演会等とおして、 子どもや保護者等の若い世代を中心に地 域福祉への理解を深める。	無料	新規	後援 平成25年 8月30日	子どもや保護者等の若い世代を 中心に、地域のつながりの大切 さを知り、交流を体験すること で地域福祉への理解を深めるこ とを目的とした催し物であるた め、後援することが適当であ る。
8	平成25年 8月16日	リニモ沿線 ミュージアム ウィーク開催実 行委員会 上田信子	リニモ沿線ミュージ アムウィーク	リニモ沿線文化施 設 平成25年10月 12日～11月4 日	○ 小・中学生、高・大学生、一般を対 象にした文化活動の振興を図るワーク ショップやイベント 「リニモ沿線のミュージアムと文化資産 の再発見」をテーマに、リニモ沿線の史 跡をめぐるウォーキングイベントや体験 型のワークショップを通して参加者の文 化活動の振興を図る。	無料	新規	後援 平成25年 9月2日	参加者にリニモ沿線文化ゾー ンの魅力を知ってもらい、地域全 体の活性化と文化活動の振興を 図ることを目的とした催し物で あるため、後援することが適当 である。
9	平成25年 9月3日	科学の祭典実行 委員会 伊東久範	小中学生のための科 学の祭典	長久手市立南小学 校体育館 平成25年12月 14日	○ 小中学生を対象にした科学実験・工 作講座 小学生から中学生までが科学の興味・関 心を探めることができるように、参加者 の年齢に合わせた科学実験・工作講座を 開催する。スタッフは市内小中学校教員 及び愛知淑徳大学学生が行う。	無料	新規	後援 平成25年 9月4日	市内小中学校の教師が中心とな り、小中学生の科学への興味・ 関心を深めることを目的とした 催し物であるため、後援するこ とが適当である。